



ロータリー：変化をもたらす

RI 会長

イアン H.S. ライズリー

新潟南ロータリークラブ

- 例会場 / 新潟市中央区川端町 6 丁目 53 ホテルオークラ新潟 TEL 025-224-6111
- 事務所 / 新潟市中央区西堀前通 6-905 第二西堀ビル 5 F
TEL 025-222-5050 FAX 025-222-5051 e-mail niigataminamirc@wine.ocn.ne.jp
- 例会日 / 水曜日 12 時 30 分
- 会長 / 富山 修一 幹事 / 田村 淑文 会報・雑誌委員長 / 西脇 郁夫

WEEKLY REPORT

No.2837 2017.12.27 wed

ロータリーソング ①「四つのテスト」 ②「ROTARY」

1) 富山 修一 会長挨拶



12月15日に私を含め5人で新潟学園のクリスマス会に行き、多くの方々に支えられている事が分かりました。20日はクリスマス家族例会で17組ものご家族が参加してくれました。角南委員長以下、親睦委員会の皆さん大変盛り上げてくれてありがとうございます。

さて明日は御用納めです。証券取引所でも大納会があり手締めが行われます。手締めは日本独自の習慣で、行事を取り仕切った者が無事に終了した事を協力者に感謝するのが趣旨です。従って、来賓がお願いされても辞退するのが筋です。

江戸締め、大阪締め、博多手一本など各地にあります。江戸締めの三本締めは「イヨーオ」3回3回3回1回「イヨー」3回3回3回1回「もうー丁」3回3回3回1回で、最後に「ありがとうございました」と皆さんへの感謝の言葉を申し添えます。皆さんは拍手で応えます。一本締めは一度だけです。また最初の「イヨー」は祝うの変形です。

短気の江戸っ子は最後の1回の「タン」で終わる「一丁締め」あるいは「関東一本締め」までありますが、この場合は最後の拍手はありません。この方法は関東以外では御法度だそうです。

最後に博多手一本では「ヨー」2回「も一つ」2回「祝うて3度」3回で、最後の拍手は有りません。各地で違うものですね。今日は今年最後の例会です。お世話になりました。来年もよろしくお祈りします。

2) 本日のゲスト

新潟日報社創業140年記念映画「ミッドナイト・バス」竹下 昌男 監督：主演の原田泰造くんとは二度目の顔合せです。今回は自らプロデュースを兼ねての企画となりました。新潟日報社さんをはじめ、製作を支えてくださった方々に感謝を申し上げます。みなさん是非ご覧になってください。



3) 今週の花

「千両」 花言葉：「利益」「可憐」「裕福」「富」「財産」「恵まれた才能」「富貴」

4) 伝達

- ・兵藤 邦広 君へ
マルチプル・ポール・ハリス・フェローピン贈呈
- ・富山 修一 君へ
マルチプル・ポール・ハリス・フェローピン贈呈



5) 委員会報告

- ・ロータリー財団委員会（後藤 隆生 君）



藤田 英樹 君	\$ 50	(\$ 50)
五十嵐大吾 君	\$ 20	(\$ 3,850)
近 久雄 君	\$ 50	(\$ 1,051.58)
宮尾 益佳 君	\$ 50	(\$ 2,450)
斎藤 秀明 君	ポリオ \$ 10	(\$ 2,530)
富山 修一 君	\$ 20	(\$ 2,090)

- ・米山奨学委員会（五十嵐 大吾 委員長）



兵藤 邦広 君	¥5,000	(¥999,000)
五十嵐大吾 君	¥2,000	(¥155,000)
近 久雄 君	¥5,000	(¥120,900)
古塩 充 君	¥10,000	(¥300,000)

6) ニコニコボックス紹介（西潟 健徳 委員長）

1件



小田敏三君…新潟日報社創業140年記念映画「ミッドナイト・バス」、竹下監督の想いたっぷり聞かせて下さい。“本物の映画”にニコニコ！

7) 伝達：親睦委員会（牧野 繁 副委員長）



・1月18日の新年例会のオークション出品商品がまだ少ないのでぜひご協力をお願いします。

8) 幹事報告（田村 淑文 幹事）

- ・1月より交換レートを1\$ = 114円といたします。
- ・南RC現況報告の訂正等は幹事までお知らせ下さい。

会員数	算定対象者	出席者	出席率
107	103	81	78.64

《卓話》

「2017～2018年へ 新潟を展望する」 新潟日報社 社長 小田 敏三 さん

紹介：斎藤 和利 委員長



今年は世界の動きに渦を感じた年だった。その代表としてトランプ大統領が1月に就任、今年だったことに驚くが、併せて世界中がいろいろな動きになってきた。

新潟の場合は、北朝鮮状況、拉致問題。常に対岸状況が気になる年だった。そういった一連の動きの主役がトランプ大統領。そして、安倍総理もどういったスタンスでやっていくのか危惧される。一方で、新潟県も米山知事が誕生して1年が経過した。

2018年というのはどういう年になるんだろう。2019年5月1日に新しい天皇が即位され、新しい元号になる。そしてその翌年、2020年の東京オリンピックはおそらく、新しい天皇陛下が開会宣言をされるだろう。そういう日本人が好きな皇室、あるいは東京オリンピック。そういった意味でのナショナリズムが2019年の春から動く。

先日、中国・韓国の総領事、領事館の皆さんと話していて、日本人は12月31日があって、1月1日があって、ただ半歩跨いだだけで新しい気持ちになる。何ででしょう、と。これは日本人独特の精神世界。横綱審議委員をやらされた内館牧子さんの講演で、「日本人の不思議なところは、精神的なもので色々区切りをつけるところだ」と。たとえば相撲の世界で言えば、土俵というのは神の世界。初日の朝方、土俵の中央の穴にお供え物を入れて、神事を行っている。神様が降りて、15日間を守っていただくための祈り。そして千秋楽のあと神様にお帰り頂く儀式も行っている。つまり、あの空間が仕切られているという感覚を持っているのは日本人ならではの、日本人の精神性を表している。そういった皇室、神事などが好きな日本人の来年がそういう仕切りの時期になる。

日本は昭和27年にGHQから「解放」され、その翌々年に、選ばれなかったが1960年のオリンピックに一度手を挙げている。日本が「これから」という機運で、その時代と今が似ている。そこに水を差すのが北朝鮮状況。国内でも勇ましい言葉が飛び交っていて、実はこれが一番怖い。